

ひらかたししょうがいしゃけいかく だい じ およ ひらかたししょうがいふくしけいかく だい き ひらかたししょうがいふくしけいかく だい き ぜんかいかいぎしりょうそあん へんこうてん
枚方市障害者計画（第4次）及び枚方市障害福祉計画（第6期）・枚方市障害児福祉計画（第2期）前回会議資料素案からの変更点

P	へんこうまえ 変更前	へんこうご 変更後	へんこうりゆう 変更理由・内容
P16	<p>だい せつ きほんりねん 第1節 基本理念</p> <p>・・・。</p> <p>こんご ちいききょうせいしゃかい じつげん の た 今後、地域共生社会の実現のために、これまでの取り組みを継続し、充実させていくことが必要であり、本計画策定にあたり、「枚方市障害者計画（第3次）」の基本理念を継承することとします。この理念に基づき、障害のある人が地域で自立していきいきと暮らせるよう、教育、まちづくり、社会参加などの施策の充実や、社会資源の整備を図っていきます。</p>	<p>だい せつ きほんりねん 第1節 基本理念</p> <p>・・・。</p> <p>こんご ちいききょうせいしゃかい じつげん の た 今後、地域共生社会の実現のために、これまでの取り組みを継続し、充実させていくことが必要であり、本計画策定にあたり、「枚方市障害者計画（第3次）」の基本理念を継承することとします。この理念に基づき、障害のある人が地域で自立していきいきと暮らせるよう、教育、まちづくり、社会参加などの施策の充実や、社会資源の整備を図っていきます。</p> <p>また、障害のある人が地域で自立して暮らすということは、単に施設人 所ではないとか、精神科病院に入院していないということだけでなく、目らの意志で住む場所や利用するサービスを決定することであり、そのための必要な支援をしていきます。</p>	<p>しょうがい ふくし せんもん 障害福祉専門 ぶんかかい いけん 分科会での意見 を踏まえ追記。</p>
P50	<p>だい せつ あんしん せいかつ かくほ ていきょう 第3節 安心して生活できるサービスの確保と提供</p> <p>ちいきせいかつ しえん 1. 地域生活への支援</p> <p>■施策の基本的な方向性</p> <p>・・・。</p> <p>そういったさまざまな福祉サービスの質の確保を図るため、枚方市自立支援協議会や枚方市障害福祉サービス事業者連絡会等と協力し、ガイドヘルパー養成研修の実施や各種事業者向け研修会を通じ、介護等の人材の確保や資質の向上、障害福祉事業所の質の向上に取り組めます。</p>	<p>だい せつ あんしん せいかつ かくほ ていきょう 第3節 安心して生活できるサービスの確保と提供</p> <p>ちいきせいかつ しえん 1. 地域生活への支援</p> <p>■施策の基本的な方向性</p> <p>・・・。支援度合いが高い障害のある方や高次脳機能障害者についても適切なサービスの提供に努めます。</p> <p>そういったさまざまな福祉サービスの質の確保を図るため、枚方市自立支援協議会や枚方市障害福祉サービス事業者連絡会等と協力し、ガイドヘルパー養成研修の実施や各種事業者向け研修会を通じ、介護等の人材の確保や資質の向上、障害福祉事業所の質の向上に取り組むとともに、介護職場の魅力も広報ひらかた等を通じて周知して参ります。</p>	<p>おおさかふ きほんてき 大阪府の基本的 な考え方に基 づき、法定協議 会の中で追記。</p>

P	変更前 へんこうまえ	変更後 へんこうご	変更理由・内容 へんこうりゆう ないよう
P52	<p>高齢障害者の日常生活支援《取り組み》</p> <p>高齢障害者のサービス利用は介護保険が優先ですが、高齢視覚障害者への同行援護や高齢知的障害者への日中活動系サービスなど、介護保険にはない障害特性に由来する必要なサービスを提供します。</p>	<p>高齢障害者の日常生活支援《取り組み》</p> <p>高齢障害者のサービス利用は介護保険が優先ですが、高齢視覚障害者への同行援護や高齢知的障害者への日中活動系サービスなど、介護保険にはない障害特性に由来する必要なサービスを提供します。また、障害固有のニーズを考慮したサービス提供に努めます。</p>	<p>障害福祉専門分科会での意見を踏まえ変更。</p>
P60	<p>第4節 自分らしい生き方を見つける・選ぶ</p> <p>1. 就労に向けた支援</p> <p>■現状と課題</p> <p>・・・。</p> <p>障害者の就労に対するニーズに対応するため、一般就労に向けての障害福祉サービス事業所、訓練機関の役割が、今後、ますます大きくなってきます。</p> <p>本市では、ハローワークや枚方市障害者就業・生活支援センター等と連携のもと、「障害者合同就職面接会」、「障害者庁舎内実習」を実施して、障害者の一般就労を支援しています。</p>	<p>第4節 自分らしい生き方を見つける・選ぶ</p> <p>1. 就労に向けた支援</p> <p>■現状と課題</p> <p>・・・。</p> <p>障害者の就労に対するニーズに対応するため、相談支援事業所や一般就労に向けての障害福祉サービス事業所、訓練機関の役割が、今後、ますます大きくなってきます。</p> <p>本市では、ハローワークや枚方市障害者就業・生活支援センター等と連携のもと、「障害者合同就職面接会」、「障害者庁舎内実習」を実施して、障害者の一般就労を支援しています。</p>	<p>大阪府の基本的な考え方に基づき、法定協議の中で追記。</p>
P76	<p>第5節 身近な相談窓口の充実ときめ細やかな情報提供</p> <p>1. 相談・支援体制の充実</p> <p>・・・。</p> <p>また、枚方市自立支援協議会において、相談支援センターなどの地域のさまざまな関係機関が協議し、情報を共有することによって、それぞれの機関での相談への対応をより充実した内容にできるよう取り組みます。</p>	<p>第5節 身近な相談窓口の充実ときめ細やかな情報提供</p> <p>1. 相談・支援体制の充実</p> <p>・・・。</p> <p>また、枚方市自立支援協議会において、相談支援センターなどの地域のさまざまな関係機関が協議し、地域の課題をはつくつ発掘し、情報を共有することによって、それぞれの機関での相談への対応をより充実した内容にできるよう取り組みます。枚方市自立支援協議会では年に1回相談支援センタ一の評価を行います。</p>	<p>大阪府の基本的な考え方に基づき、法定協議の中で追記。</p>

P	変更前 へんこうまえ	変更後 へんこうご	変更理由・内容 へんこうりゆう ないよう
P80	<p>医療的ケア児等支援連絡会議</p> <p>《取り組み》</p> <p>医療的ケア児の在宅生活を支援する関係機関による意見交換や情報提供のための協議の場</p>	<p>医療的ケア児等支援連絡会議</p> <p>《取り組み》</p> <p>連絡会議を通じ、医療的ケア児の在宅生活を支援する関係機関による意見交換や情報提供を図ります。</p>	<p>障害福祉専門 分科会での意見 を踏まえ変更。</p>
P82	<p>第1節 障害者総合支援法及び児童福祉法によるサービス体系</p> <p>1. 障害者総合支援法によるサービス体系</p> <p>障害者総合支援法では、障害種別（身体障害、知的障害、精神障害）に関わらず、サービスが提供されます。</p>	<p>第1節 障害者総合支援法及び児童福祉法によるサービス体系</p> <p>2. 障害者総合支援法によるサービス体系</p> <p>障害者総合支援法では、障害種別（身体障害、知的障害、精神障害）に関わらず、発達障害者、高次脳機能障害者、難病患者にもサービスが提供されます。</p>	<p>大阪府の基本的な考え方に基 づき、法定協議 の中で追記。</p>
P84	<p>第2節 障害福祉計画（第6期）</p> <p>・・・。</p> <p>「地域生活への移行」とは、本来、この考え方に基づき実践されるべきものであり、施設入所している人、精神科病院に入院している人に対するアプローチやフォロー。また、地域でも親元、家族と離れ自立した生活を望んでいる人への支援のあり方など、更なる工夫に取り組んでいく必要があります。</p> <p>（1）施設入所者の地域移行者数 施設入所者182人の6%以上</p>	<p>第2節 障害福祉計画（第6期）</p> <p>・・・。</p> <p>「地域生活への移行」とは、本来、この考え方に基づき実践されるべきものであり、施設入所している人、精神科病院に入院している人に対するアプローチやフォローな ど、継続的な支援を行う必要があります。また、地域でも親元、家族と離れ自立した生活を望んでいる人への支援のあり方など、更なる工夫に取り組んでいく必要があります。</p> <p>（1）施設入所者の地域移行者数 施設入所者180人の6%以上</p>	<p>障害福祉専門 分科会での意見 を踏まえ変更。</p> <p>施設入所者の 地域移行者数 大阪府からの 数値に基づき 修正。</p>

P	変更前	変更後	変更理由・内容
P85～ P86	<p>(2) 施設入所者の削減 3人</p> <p>施設入所者182人から1.6%以上削減</p> <p>2. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築</p> <p>(1) 令和5年6月末時点の精神病床における1年以上の長期入院患者数</p> <p>大阪府では、令和5年6月末時点の精神病床における1年以上の長期入院患者数8,688人とされた府域の目標値について、市町村ごとに按分された数値を目標として設定します。</p>	<p>(2) 施設入所者の削減 7人</p> <p>施設入所者180人から1.6%以上削減</p> <p>2. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築</p> <p>(1) 令和5年6月末時点の精神病床における1年以上の長期入院患者数</p> <p>大阪府では、令和5年6月末時点の精神病床における1年以上の長期入院患者数8,688人とされた府域の目標値について、市町村ごとに按分された数値を目標として設定します。</p> <p>本市における令和元年度の実績は240人)</p>	<p>施設入所者の地域移行者数大阪府からの数値に基づき修正。</p>
P86	<p>3. 地域生活支援拠点等が有する機能の充実</p> <p>・・・地域生活支援拠点等について、令和5年度末までに整備していくとともに、整備後もそれらの機能の充実のため、年1回以上運用状況を検証・検討していきます。</p> <p>4. 福祉施設から一般就労へ向けての取組</p> <p>(1) 就労移行支援事業を通じた一般就労への移行数に関する目標について</p> <p>55人</p> <p>(2) 就労継続支援A型事業を通じた一般就労へ移行数に関する目標について</p> <p>31人</p>	<p>3. 地域生活支援拠点等が有する機能の充実</p> <p>・・・地域生活支援拠点等について、面的整備を基本に据え、令和5年度末までに整備していくとともに、整備後もそれらの機能の充実のため、年1回以上運用状況を検証・検討していきます。</p> <p>4. 福祉施設から一般就労へ向けての取組</p> <p>(1) 福祉施設から一般就労への移行数に関する目標について</p> <p>105人</p> <p>(2) 就労移行支援事業を通じた一般就労への移行数に関する目標について</p> <p>60人</p> <p>(3) 就労継続支援A型事業を通じた一般就労へ移行数に関する目標について</p> <p>33人</p>	<p>障害福祉専門分科会での意見を踏まえ追記。</p> <p>大阪府 法定協議の中で数値修正。</p>

P 94
～95

【障 害福祉計画（第6期）】

1. 自立支援給付の利用見込みと整備の方向

(3) 日 中活動系サービス 見込量

		れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
せいかつかいご 生活介護	じつりようしやすう 実利用者数	995→950	1,022→985	1,051→1,007
	りようにっすう 利用日数	18,467→17,575	18,969→18,223	19,498→18,630
しゅうろうけいぞくしえん 就労継続支援 (B型)	じつりようしやすう 実利用者数	699	724	747
	りようにっすう 利用日数	9,299→11,743	9,626→12,163	9,928→12,550
しゅうろうていやくしえん 就労定着支援	じつりようしやすう 実利用者数	35→45	36→47	37→49
りょうようかいご 療養介護	じつりようしやすう 実利用者数	53	53	53

(4) 居住系サービス

	れいわ ねんど 令和3年度	れいわ ねんど 令和4年度	れいわ ねんど 令和5年度
しせつにゅうしよしえん 施設入所支援	182→175	180→174	177→173

じつせき ふ
実績を踏まえ、
みこみりよう みなお
見込量の見直し
をおこな
を行った。

P	へんこうまえ 変更前	へんこうご 変更後	へんこうりゆう 変更理由・内容
P97	<p>(5) 相談支援 【整備の方向】 〇市全体での相談支援事業のあり方を検討し、各相談支援事業所の機能強化を図れるよう支援していきます。</p> <p>(6) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 精神病床における長期入院患者の地域生活への移行に向けて、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるため、本市においては自立支援協議会を保健、医療及び福祉関係者による協議の場と位置付け部会活動を通じて、重層的な連携による支援体制を構築しています。</p>	<p>(5) 相談支援 【整備の方向】 〇市全体での相談支援事業のあり方を検討する上で実情を把握し、各相談支援事業所の機能強化を図れるよう支援していきます。</p> <p>(6) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 精神病床における長期入院患者の地域生活への移行に向けて、当事者への訪問面接を実施し、退院への意欲を高める支援に取り組むとともに、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるため、本市においては自立支援協議会を保健、精神科病院及び福祉関係者による協議の場と位置付け部会活動を通じて、重層的な連携による支援体制を構築しています。</p>	<p>障害福祉専門分科会での意見を踏まえ追記。</p>
P98～ 99	<p>(7) 相談支援体制の充実・強化等 相談支援体制を充実・強化するため、本市においては、基幹相談支援センターを中心に、総合的・専門的な相談支援の実施及び地域の相談支援体制の強化を実施する体制を確保しています。</p>	<p>(7) 相談支援体制の充実・強化等 相談支援体制を充実・強化するため、本市においては、基幹相談支援センターを中心に、総合的・専門的な相談支援の実施及び地域の相談支援体制の強化を実施する体制を確保しています。</p> <p>また、主任相談支援専門員を計画的に確保し、地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導等を行います。さらに地域課題を抽出し、検証するとともに地域における相談支援体制の検証・評価を行うなど相談支援体制の再構築を検討しています。</p>	<p>大阪府 法定協議の中で数値修正。</p>

P	変更前	変更後	変更理由・内容														
P99	<p>【整備の方向】</p> <p>○障害種別や各種のニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援等の実施のため、基幹相談支援センターや地域の相談機関との連携の体制強化に努めます。</p>	<p>【整備の方向】</p> <p>○障害種別や各種のニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援等の実施のため、事前検討会を行い、基幹相談支援センターや地域の相談機関との連携の体制強化に努めます。</p> <p>また、基幹相談支援センター等を中心に主任相談支援専門員を計画的に確保します。新任や現任の相談員に対しても指導育成を行います。</p>	<p>大阪府 法定協議の中で数値修正。</p>														
P107	<p>2. 地域生活支援事業の利用見込みと整備の方向</p> <p>(10) 移動支援事業</p> <table><tr><th colspan="2"></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr><tr><td rowspan="2">障害児通学支援事業</td><td>実利用者数</td><td>122→45</td><td>125→45</td><td>125→45</td></tr><tr><td>利用時間数</td><td>12,769→7,830</td><td>13,083→7,830</td><td>13,293→7,830</td></tr></table>			令和3年度	令和4年度	令和5年度	障害児通学支援事業	実利用者数	122→45	125→45	125→45	利用時間数	12,769→7,830	13,083→7,830	13,293→7,830		<p>実績を踏まえ、目標事業量の見直しを行った。</p>
		令和3年度	令和4年度	令和5年度													
障害児通学支援事業	実利用者数	122→45	125→45	125→45													
	利用時間数	12,769→7,830	13,083→7,830	13,293→7,830													
P110	<p>【障害児福祉計画（第2期）】</p> <p>3. 障害児支援サービスの利用見込みと整備の方向</p> <p>(2) 訪問系サービス</p> <table><tr><th colspan="2"></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr><tr><td>保育所等訪問支援</td><td>訪問回数</td><td>54→138</td><td>56→143</td><td>58→148</td></tr></table>			令和3年度	令和4年度	令和5年度	保育所等訪問支援	訪問回数	54→138	56→143	58→148						
		令和3年度	令和4年度	令和5年度													
保育所等訪問支援	訪問回数	54→138	56→143	58→148													

P	変更前 へんこうまえ	変更後 へんこうご	変更理由・内容 へんこうりゆう ないよう
P111	<p>(5) 発達障害がい者等に対する支援 発達障害者等の早期発見・早期支援には、発達障害者等 及びその家族等への支援が重要であることから、各市町村 において、保護者等が子どもの発達障害の特性を理解し、 必要な知識や方法を身につけ、適切な対応ができるよう、ペ アレントプログラムやペアレントトレーニング等の発達 障害者等及びその家族等に対する支援体制を確保すること が重要です。</p> <p>本市においてはペアレントトレーニングやペアレントプログ ラム等支援プログラム、ペアレントメンターその他の発達 障害者等への支援については現在のところ実施はなく、情 報収集を行い必要性について引き続き研究してまいります。</p> <p>なお、ペアレントメンターについては、大阪府がペアレント メンターを養成しており、本市が開催する講演会などには、 本市より大阪府に対して、ペアレントメンターの派遣を要請し ています。</p>	<p>(5) 発達障害者等に対する支援 発達障害者等の早期発見・早期支援には、発達障害者等 及びその家族等への支援が重要であることから、各市町村 において、保護者等が子どもの発達障害の特性を理解し、 必要な知識や方法を身につけ、適切な対応ができるよう、ペ アレントプログラムやペアレントトレーニング等の発達 障害者等及びその家族等に対する支援体制について情報 収集を行い必要性について引き続き研究してまいりま す。</p>	<p>大阪府の基本的 な考え方に基 づき、法定協議 の中で変更。</p>

第5節 枚方市障害福祉計画（第5期）・障害児福祉計画（第1期）達成状況

1. 国及び大阪府の基本指針に基づく、令和2年度の成果目標

目標とする項目	令和2年度末 の目標	目標に対する進捗状況	
		令和元年度末 げんざい 現在	説明
(2) 施設入所者の 削減数	4人	4→13人	平成28年度末時点における施設入所者193人から182→180人へと約5.7→6.7%の削減となっており、令和元年度末時点では目標を達成している状況です。

2. 障害福祉サービス

(1) 訪問系サービス

			平成 ねんど 30年度	令和 がねんど 元年度	令和 ねんど 2年度	達成率
居宅介護 重度訪問介護 行動援護 同行援護 重度障害者等 包括支援	実利用者数	実績	901	931	892→894	100%
		見込み量	849	870	890	
	利用時間数	実績	33,753	34,781	34,492→ 34,716	109→110%
		見込み量	30,002	30,827	31,682	

実績値修正及び（3）日中活動支援に就労定着支援追加。

(2) 短期入所 (ショートステイ)

			へいせい 平成 ねんど 30年度	れいわ 令和 がんねんど 元年度	れいわ 令和 ねんど 2年度	たっせいりつ 達成率
たんきにゅうしょ 短期入所	じつりようしゃすう 実利用者数	じっせき 実績	197	202	126→121	39→37%
		みこりよう 見込み量	247	283	324	
	りようにつすう 利用日数	じっせき 実績	954	917→916	658→649	40%
		みこりよう 見込み量	1,248	1,430	1,637	

(3) 日中活動系サービス

			へいせい 平成 ねんど 30年度	れいわ 令和 がんねんど 元年度	れいわ 令和 ねんど 2年度	たっせいりつ 達成率
せいかつかいご 生活介護	じつりようしゃすう 実利用者数	じっせき 実績	893	914	919→912	83→82%
		みこりよう 見込み量	1,009	1,057	1,107	
	りようにつすう 利用日数	じっせき 実績	16,470	17,032	17,879→ 17,265	87→84%
		みこりよう 見込み量	18,757	19,650	20,579	
じりつくんれん 自立訓練 (きのうくんれん 機能訓練)	じつりようしゃすう 実利用者数	じっせき 実績	8	7	4	67%
		みこりよう 見込み量	6	6	6	
	りようにつすう 利用日数	じっせき 実績	114	89→65	86→49	93→53%
		みこりよう 見込み量	92	92	92	
じりつくんれん 自立訓練 (せいかつくんれん 生活訓練)	じつりようしゃすう 実利用者数	じっせき 実績	35	33	36→39	124→134%
		みこりよう 見込み量	26	27	29	
	りようにつすう 利用日数	じっせき 実績	647	480→504	591→648	107→118%
		みこりよう 見込み量	493	512	550	

就 労 移 行 支 援	実利用者数	実績	134	155	139→145	99→104%
		見込み 量	131	135	140	
	利用日数	実績	2,095	2,424	2,461→2,510	108→110%
		見込み 量	2,129	2,194	2,275	
就 労 継 続 支 援 (A 型)	実利用者数	実績	167	172	174	75%
		見込み 量	185	208	233	
	利用日数	実績	3,103	3,258	3,462→3,368	76→74%
		見込み 量	3,616	4,065	4,554	
就 労 継 続 支 援 (B 型)	実利用者数	実績	621	659→654	680→681	115%
		見込み 量	570	582	594	
	利用日数	実績	10,142	10,949→10,975	11855→11,470	118%
		見込み 量	9,342	9,539	9,736	
就 労 定 着 支 援	実利用者数	実績	15	46	44	66%
		見込み 量	56	61	66	

(4) 居住系サービス

		平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	達成率
共同生活援助	実績	352	370	390→385	86→85%
	見込み量	352	369	454	
施設入所支援	実績	188	182	174→176	92→93%
	見込み量	191	190	189	

(8) 移動支援事業

			へいせい 平成 ねんど 30年度	れいわ 令和 がねんど 元年度	れいわ 令和 ねんど 2年度	たっせいりつ 達成率
いどうしえんじぎょう 移動支援事業	じつりようしゃすう 実利用者数	じっせき 実績	1,280	1,225	682→844	51→63%
		みこりよう 見込み量	1,299	1,323	1,348	
	りようじかんすう 利用時間数	じっせき 実績	238,315	215,425→ 218,956	13,524	5%
		みこりよう 見込み量	257,959	262,725	267,689	

			へいせい 平成 ねんど 30年度	れいわ 令和 がねんど 元年度	れいわ 令和 ねんど 2年度	たっせいりつ 達成率
しょうがいじつがく 障害児通学 しえんじぎょう 支援事業	じつりようしゃすう 実利用者数	じっせき 実績	36	43	36	84%
		みこりよう 見込み量	43	43	43	
	りようじかんすう 利用時間数	じっせき 実績	12,462→ 6,860	10,050→ 6,519	548→6,519	7→87%
		みこりよう 見込み量	7,493	7,493	7,493	

4. 障害児支援サービス

(1) 通所系サービス

			へいせい 平成 ねんど 30年度	れいわ 令和 がんねんど 元年度	れいわ 令和 ねんど 2年度	たっせいりつ 達成率
じどうはつたつしえん 児童発達支援	じつりようしやう 実利用者数	じっせき 実績	225	256	230→219	57→54%
		みこ 見込み量	251	339	404	
	りようにつすう 利用日数	じっせき 実績	1,989	2,534	2,363→2,001	64%
		みこ 見込み量	1,944	2,626	3,129	
ほうかごとう 放課後等 デイサービス	じつりようしやう 実利用者数	じっせき 実績	676	752	787→764	43%
		みこ 見込み量	1,058	1,399	1,849	
	りようにつすう 利用日数	じっせき 実績	8,967	9,892	10,809→ 10,264	48→46%
		みこ 見込み量	12,839	16,977	22,438	

(2) 訪問系サービス

			へいせい 平成 ねんど 30年度	れいわ 令和 がんねんど 元年度	れいわ 令和 ねんど 2年度	たっせいりつ 達成率
ほいくしやとうほうもんしえん 保育所等訪問支援	ほうもんかいすう 訪問回数	じっせき 実績	90	50→128	52→144	21→57%
		みこ 見込み量	137	186	253	